

# 地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

日頃より、当センター運営・活動にご協力いただき、ありがとうございます。  
例年になく暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。  
当センターでは、今年度の活動計画に沿って、熱い活動を展開しています。  
今後も、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



## 就労支援事業（ハローワーク）

長期療養者就職支援事業を実施するため、秋田公共職業安定所と都道府県がん診療連携拠点病院である当院が平成 28 年 7 月 4 日に協定を締結しました。秋田公共職業安定所就職支援ナビゲーターが当院に出張し職業相談を、

原則、 毎週火曜日 14:00~16:00 で実施しています。

がん、肝炎、糖尿病等の疾病があるが、長期療養しながら働きたいという方がおりましたら、ぜひ、当センターにご連絡・ご相談ください。



## ひだまり教室

患者さんや一般市民向けのミニ教室を院内図書室で開催しました。

- ・6/9(木)「高額療養費について」
- ・7/21(木)「在宅医療連携外来について」

参加者からは「満足した」「大変参考になった」と良好なご意見をいただきました。

今後も、多くの方々の参加をお待ちしています。

## ひだまり教室

< 今後の開催予定 >

- 9/8(木) 「介護保険について」
- 11/17(木)「セカンドオピニオンについて」
- 2/9(木) 「在宅往診医とのお話会」

## 市民公開講座 6月26日(日) アルヴェ2F 多目的室

緩和ケアセンターと共同で開催しました。

テーマは「がんと向き合うために～治療と暮らしを両立させるためのヒント～」でした。秋田県のがん患者等就労実態の状況をはじめ、がん患者さんからの話を伺うことができました。80 数名の参加者があり、有意義な公開講座だったと評価がありました。



## 2016 あきたがんささえ愛の日 6月26日(日) アルヴェ 1F きらめき広場

県内の相談員と共に、がん相談支援センターをPRしました。横断幕、のぼり、Tシャツ、ポケットティッシュを作成し、横断幕には、秋田を象徴する「秋田ふき」「稲穂」をデザインし、Tシャツの袖には「あんべいいな秋田県」のロゴを使用しています。オレンジ色で元気に活動していきます。



## 第13回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

平成28年7月1日～2日、新潟の朱鷺メッセで開催され、全国42大学から医師・看護師・MSW・心理士・事務職など、293名の参加がありました。

平成28年度の診療報酬改定への対応状況において「退院支援加算1」を申請した施設は1/42大学でした。申請できない理由として「病棟へのスタッフ配置が現状困難」が最多でした。加算取得に向けて検討中と回答した大学が半数以上あり、当院としても加算取得に向けて再検討していきたいと思えます。



看護分科会においては、「秋田大学医学部附属病院における在宅医療連携外来の現状と課題」というテーマで発表する機会を得ました。在宅医療連携外来は、国立大学では当院のみの取り組みであり、複数の大学から「大変興味深い取り組みである」という評価をいただきました。全国的にも注目されている取り組みであることを改めて実感し、今後も、患者さんの思いや希望を支え、つなげる窓口として取り組んでいきたいと思いました。

## 秋田竿燈まつり 市民パレードに参加 8月6日(土)

「がん相談支援センター」をPRしました。相談窓口のある県内のがん相談支援センターを紹介するポケットティッシュ600個と風船40個を準備しましたが、あっという間になくなりました。少しでも多くの方々に相談窓口を知って、利用してもらえるきっかけになってくれればと願っています。



### ～今後の活動予定～

- 9/10(土) 「2016 フォーラム がんと生きる」でのPR活動
- 9/24(土) がん就労支援シンポジウム